



# えん En ふあ〜む



～あおば相談・連携支援のおたより～

令和4年 11月 第4号

「En ふあ〜む」は、連携支援グループが不定期に発信するおたよりです。今年度は、1回目の発行です。

タイトルの、Enには「～になる」「円」「縁」「援」など、あおば支援学校にかかわる皆さんと一緒に！という意味が、ふあ〜むには、保護者の皆さん、地域の皆さんと児童生徒の皆さんを温かく包み込んで、育てていけますように！という意味と、子どもたちとともに、あおば支援学校も育っていけますように！という思いが込められています。

## センター的機能：こんな研修依頼がありました



「特別支援学校がどんな学校なのかを知りたいです。学校見学をさせていただき、学習内容や学校の様子、具体的な支援の仕方等を教えていただきたいです。」  
(青葉区特別支援教育研究会より依頼)



学校見学の後、  
体育館で学習内容の  
説明や子どもたちへ  
の支援について  
お話をしました。

夏季休業中に研修として30名ほどの先生方が来校されました。地域の小学校で個別支援学級を担当されている先生方でした。

身体面に配慮した環境設定、心理的安定に配慮した環境設定、見通しをもてるような環境設定など、どのような配慮をすると児童生徒が過ごしやすいのか、についてお話ししました。

青葉区に唯一ある特別支援学校として、これからも地域のセンター的機能を果たしていきたいと思えます。



### <ぜひ、ご覧ください♪>

これまでに行った研修や、センター的機能として行っている取り組みについて、また、お子さんへの支援の参考となる情報について、あおばフェスタの間、2階校長室前の掲示板に貼ってあります。どうぞお立ち寄りください。(1階事務室横の掲示板にも進路情報等あります。そちらもご覧ください。)

## どんな靴を選んでますか？



学校で「上履き」といえば、誰しも思いうかべるのがバレエシューズですが、バレエシューズは靴底が薄く、かかと周囲を支える芯材も入っていないため、成長期の子どもの足を支えるには貧弱です。靴底が薄くて硬いので、衝撃が繰り返し足に伝わり、足首の柔軟な動きが育ちにくくなったり、痛みや疲労が生じやすくなったり、そこから不快になって他の活動に影響を及ぼすこともあります。

また、かかと周りの支えがないので、かかとが倒れたまま歩くことになり、扁平足やO脚・X脚になりやすかったり、ぎこちない歩き方のクセがついてしまったりすることもあります。

上履き(靴)は、何千時間、何十万歩と使い続ける、非常に重要な「学習/生活用具」の一つです。ぜひ、足に合ったよい靴をえらんでください。

※特に、力が弱い子、疲れやすい子、バランスが悪い子、扁平足の子などは、しっかりした靴を選んであげましょう！

※バレエシューズの利点として、安価、洗いやすい、という点があります。

※「しっかり足を支える」「自分で簡単に履ける」「かわいい」等、全ての条件を満たす靴はほとんどありません。子どもの様子をみながら、どんな機能を優先するか決めて、靴を選びましょう。

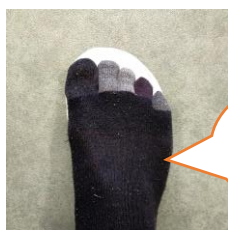
## 靴を選ぶ際のチェックポイント

### ①適切なサイズ

○つま先の部分が広めで、足の指が靴の中で自由に動く

○中敷きの上に立ってみて、足がはみ出さない大きさ

※足は体重がかかると広がるので、必ず立って合わせてみてね！



中敷きのかかとに足を合わせてみて、つま先に5~10mm程余裕があるものがGood!

特に大事!

### ②かかとの硬さ

かかとがグラツかないように、しっかり支える

この部分の硬さが大事!



特に大事!

### ③靴底の硬さ



反発力があり、蹴りだす時の推進力になる。

### ④靴底が曲がる位置



足の曲がる位置とほぼ一致している

### ⑤中敷き

足底の形にフィットしていると安定感が増します



### ⑥靴底の横幅

靴底の幅が広いと、左右の安定性が向上する。



学校生活や家庭生活で困ったことや、心配なことがあるときは、担任または、相談担当にご相談ください。  
ご本人、保護者、学校の先生、校内、校外、どなたでもお気軽にご相談ください。

☎ 045-978-1169 (連携支援直通)

☎ 045-978-1161 (学校)

